

ジェキエール編 Nicolas Jequier

『Appropriate Technology—Problems and Promises』 1976 年刊

本書は、OECD 開発センターの主催で 1974 年 9 月に開催された、低コスト技術に関する国際会議を契機に、その際の発表内容等をもとにまとめられた各論部分(第 2 部)と、それをふまえて、編者のジェキエールが、適正技術の課題と展望を包括的に論じた部分(第 1 部)とから成っている。

第 1 部ではまず、開発や援助への幻滅とともに、工業社会の未来への疑いの高まりが、適正技術への関心を強めた二つの要因とし、それぞれの地域の人々の潜在的な能力や土着的な要素も生かした、内発的な発展を重視する論が展開される。ただ、それは単なる「下からの開発論」ではなく、革新をもたらす主体は多様であり、外部からの強制的な力によっても生じるとしている。

ついで、適正技術を広げていく手段として、ハンドブックの出版やコンサルティングサービスなどの情報サービスが行われているが、その内容、アクセス、情報を受ける側の能力の問題などがあり、効果を発揮するのは容易でないことを指摘する。大学でも適正技術に関心を持つところはふえているが、適正技術の開発と実践においては職人や技能者の役割が大きいのに対し、大学の既存の価値観ではそれは無視されやすく、研究の評価方法を変える必要があること、また、研究者がコミュニティの現場へ入っていくことや、開発途上国の課題に気づかせる教育を行うことの重要性をあげている。

適正技術を用いた新たな産業の創出にあたっては、革新をもたらす起業家の存在が重要であること、協同組合的組織の得失、政府が阻害要因を除去すべきこと、既存の伝統技術や近代技術に競合できなければならないことを指摘している。

そして、政策の問題については、適正技術は、開発途上国がその主権を確保する契機ともなりうるものであるが、まだ適正技術に関する政策は定まっていないとし、伝統的な技術と近代技術のダイナミズムを保持しつつ、革新を進めていく政策を求めている。

第 2 部は、適正技術に実践的に取り組んでいる論者による各論で、論者は地域的には、欧米、アフリカ、南アジア、東南アジアにおよび、テーマとしては、低コスト技術や中間技術全般、情報サービス、小産業育成、ソーラーポンプ、水の浄化フィルター、食品加工、製造業と多岐にわたる。当時の、適正技術の実践・議論の隆盛と広がりを見ることができるものである。

このように、70 年代の中盤において、OECD 開発センターのようなメジャーな国際機関が、適正技術の開発と普及をいかに進めるか、という観点から、その課題と展望を真摯に論じていることは注目に値する。その解析は、持続可能な社会の形成が切に求められている今日においても、多くの示唆を与えるものだ。問題は、その後の適正技術の流れが、なぜここであげられているような展望のとおりに進まなかったかということである。

(田中直)

[書誌データ]

Jequier, N. *Appropriate Technology – Problems and Promises*. Development Centre of The Organization for Economic Co-operation and Development, 1976

[目次]

Preface

by Paul-Marc Henry

Introduction

by Mikoto Usui

Part One: The Major Policy Issues

1. The Origins and Meanings of Appropriate Technology
2. The Innovation System in Appropriate Technology
3. The Information Network
4. The Role of the Universities
5. Building-Up New Industries
6. Policies for Appropriate Technology

Part Two: The Practitioner's Point of View

1. The Mobilization of Knowledge on Low-Cost Technology: Outline of a Strategy  
by George McRobie
2. Brace Research Institute's Handbook of Appropriate Technology  
by T.A. Lawand, F. Hvelplund, R. Alward and J. Voss
3. The Impact of Micro-Development Projects  
by Ross W. Hammond
4. India's Experience and The Gandhian Tradition  
by M.M. Hoda
5. The Scaling-Down of Modern Technology: Crystal Sugar Manufacturing in India  
by M.K. Garg
6. The Upgrading of Traditional Technologies in India: Whiteware Manufacturing and The Development of Home Living Technologies  
by M.K. Garg
7. The Role of Techno-Entrepreneurs in the Adoption of New Technology  
by P.D. Malgavkar

8. The Reorganisation of the Light Engineering Industry in Sri Lanka  
by D.L.O. Mendis
9. Mechanisation Technology for Tropical Agriculture  
by Amir U. Khan
10. Intermediate Technology and Regional Development in the Philippines  
by Rufino S. Ignacio
11. The Design and Operation of a Water Filter Using Local Material in Southeast Asia  
by Richard J. Frankel
12. The Solar Pump and The Problems of Integrated Rural Development  
by J.P. Girardier and M. Vergnet
13. Gari Mechanisation in Nigeria: The Competition between Intermediate and Modern  
Technology  
by P.O. Ngoddy
14. Appropriate Technology in Ghana: The Experience of Kumasi University's  
Technology Consultancy Centre  
by B.A. Ntim and J.W. Powell
15. Small-Scale Distillation of Potable Spirits from Palm Wine  
by I.A. Akinrele
16. Appropriate Technology in Ethiopian Footwear Production  
by Norman S. McBain and James Pickett
17. Education as a Low-Cost Technology for Agricultural Development  
By P. Dubin
18. The Role of Non-Governmental Institutions in the Innovation Process  
By John W. Pilgrim
19. Low-Cost Technology, Cost of Labour Management and Industrialisation  
By A.J. Bhalla